

安全に雪かきを行うための

雪対策マニュアル

年明けから日本海側や東北地方を中心に災害級の大雪が報告されています。2014年2月の大雪時

私たちが暮らす地域でも、2014年2月、大雪に見舞われました。

しばらくあのような大雪は経験していませんが、

今年のニュースを見ていると他人事ではなく、

大雪の際の対策を見直しておく必要があります。この機会に

ご家族と、安全に雪かきを行うための基本を確認しておきましょう。

ふらぎINFO
大好評配信中!!
https://sakudaira.info

除雪道具早見表



除雪道具を使いこなす

除雪作業には「積もった雪を切り出す作業」「雪を寄せる作業」「雪を遠くに運んでためる作業」などがあります。ホームセンターや金物店に行くと、色々な種類の雪かきや道具が並んでいるので、作業目的や雪質に合わせて道具を使い分けましょう。

★雪かき・雪べら
軽くてやわらかい新雪の除雪に適しています。雪の重さや雪を投げる距離に応じて、柄の握る部分を替えながら使用します。固い雪に対して無理に使用すると、ヘラが壊れることがあります。

★ポリシャールセル
ブルドーザーのように、雪を押しながら移動させるのに使います。体全体を使って雪を押すように使うと、体に無理がかかりません。

★スノースコップ
プラスチックやアルミなどの軽量の材質のものが多く、雪をすくって持ち上げる作業に適しています。スコップを使う際は、腕の力だけでなく、足と腰の力を使うと楽に使用できます。

★角スコップ
比較的固い雪に使用します。切り出す雪が多すぎると体に負担がかかることもあるので、注意しましょう。

★剣先スコップ
角スコップで歯が立たない固く締まった雪を崩したり、切り分けたりするのに使います。

★つるよし
積雪が氷化した地面の氷を割るのに使用します。比較的気温が高く、氷が溶け始めた時に使うと効果的です。

★雪捨て場を利用
大雪時には各市町村ごとに「雪捨て場」が設置されることがあります。大雪の予報が出たらHPなどでこまめに情報をチェックするようにしましょう。

2人以上で作業

作業は明るい時間帯に2人以上で行いましょう。やむを得ず1人で作業する場合も、家族や隣近所に声をかけ、時々様子を見てもらうようにしましょう。また、携帯電話を携帯して作業すると安心です。



【除雪編】

除雪作業は重労働な上に危険も伴います。開始する前に、準備を万全に整え、軽く運動をしてから行いましょう。

絶対に無理はしない!

天候に注意

強風や大雪など悪天候時の作業は控えましょう。また、晴れた暖かい日は雪がゆるみやすく、屋根からの落雪にも注意が必要です。

体調管理をしっかり。無理をしない

除雪作業前には準備運動を行い、休憩をとりながら作業しましょう。体調がすぐれない、疲れている、寝不足時などは作業を控えるようにしましょう。

はぎの固定・足場の確保

高所の雪を下ろす際は、細心の注意が必要です。ヘルメットや命綱の使用はもちろん、はぎの足元や頭部をしっかり固定し、足場を確保して作業を。屋根の下の通行人にも注意しながら作業してください。決して無理はせず、難しい場合は業者に依頼しましょう。



安全な服装で

防水素材の上着を着用しましょう。防寒も大切ですが、作業中は汗をかきやすいため、吸水性がよく、乾きやすい下着を着用するのがオススメです。滑りにくく、雪が入らないような長靴や防寒靴を履いて作業しましょう。高い所の雪下ろしをする際は、ヘルメットや命綱を必ず使用しましょう。

- 帽子** ヘルメット 頭部の保護、寒さ対策に。
- マフラー** ヘルメットと作業の邪魔にならない、適度な長さのもの。汗をかきかき首にタオルを巻くのも良い。
- 手袋** 防水仕様で、滑りにくいもの。軍手は濡れやすいので、上からナイロン製手袋を重ねるのが良い。
- ポケット** (チャック付) 携帯電話を入れておく。
- 靴下** 吸水性がよく、乾きやすい素材のものが良い。
- 長靴・防寒靴** 防水性に優れ、汗などの湿度を逃がす素材がより良い。
- 下着** 吸水性がよく、乾きやすい素材のもの。

雪かきの際の注意点

- 道路や水路に雪を捨てない
道路に雪を出すと、道幅が狭くなり、思わぬ事故や通行の障害になることがあります。また、雪を水路に捨てると、水路があふれる原因にもなるので、雪を捨てる場所は状況を見ながら判断しましょう。
- 周りの状況にも注意!
帽子や防寒着のフードをかぶると、周りの音が聞こえにくくなります。車や除雪機が動いている場所では、除雪だけに気をとられず、周りの動きにも注意しましょう。

★雪底セカリ
屋根からひさし状に張り出した雪を落とすのに使います。雪が自分の上に落ちないように、雪がどこに落ちるか予想しながら作業するようにしましょう。

ワンポイント★アドバイス
道具にロウやワックスを塗っておくと雪が付きにくく、作業効率が上がります。